

第一回

小江戸川越検定試験三級

小江戸川越検定委員会（川越商工会議所内）

TEL 229-1820

小江戸川越の持つさまざまな分野の財産を継承し、「川越大好き人間」を増やしていくことを目的として実施される「川越学」の検定試験を行います。この検定試験を通じて、郷土としての小江戸川越を再発見したり、観光地としての新たな魅力や奥深さを見つめ直してみたりしてはいかがですか。

詳しくは、川越商工会議所ホームページをご覧ください（<http://www.kawagoe.or.jp/keedokentei/>）。

実施予定日：来年2月17日(日)

試験会場：東京国際大学第一キャンパス（まほば的場北一丁目）または東洋大学川越キャンパス（しほ鯨井）

経費：三千百五十円

出題範囲：歴史・史跡・神社・寺院・建築・庭園・美術・祭り・伝統芸能・地名・自然・産業・ことばと伝説・食文化など、川越に関すること全般

* 試験会場の選択はできません。

* 受験を申し込んだ方には、問題集などをお送りします。試験問題の大半は、この問題集などを基に出題されます。

* 合格者には、小江戸川越「通」認定証を発行します。

姉妹都市オータン市との交流が5周年を迎えました ～ 次世代による交流が始まります ～

川越市とオータン市（フランス・ブルゴーニュ州）が姉妹都市提携してから5年。これを記念して、9月29日から10月7日まで、やまうらひでお山浦秀男教育長、しみずきょうこ清水京子市議会副議長、川越市姉妹都市交流委員会代表・たちばら立原雅夫さんを含む市民の皆さんの合計31人で、オータン市を訪問しました。

この5年の間、オータン市の青年による川越市での造園研修・川越少年少女合唱団によるジョイントコンサートの開催・オータン市で川越を紹介する行事の開催などを通じて、友好を深めてきました。

姉妹都市交流5周年記念式典で、レミー・ルベロット市長は「この5年の間に、オータン市と川越市は、人と人との出会いを通じて、相互理解を深めてきました。今や、オータン市は川越の皆さんの街です。この機会に皆さんとの友情を分かち合いたいと思います」と述べました。これに対して山浦教育長が「はぐくんできた友好と積み重ねてきた経験を若い世代に引き継いでいくため、中学生交流団を派遣したい」と提案したところ、ルベロット市長をはじめ、オータン市姉妹都市交流委員会会長のイブ・ルモアさんなど、出席した皆さん全員の賛同を得ました。また、清水副議長は「2,000年にも及ぶ豊かな歴史の中ではぐくまれたオータン市の皆さんとの交流は、私たちに感動と感銘を与えます。この訪問は両市の友好と親善につながるものと確信します」と述べました。立原さんからは「両市は10,400km離れているが、若い世代の交流を実現し、さらに友好を深めていきたいと思います」とのことばがありました。また、訪問団の一員として参加したふるかわやすし古川泰司さんが、川越市内を描いた絵をルベロット市長に手渡しました。その後両市は、相互理解をいっそう深め、両市の発展と世界の平和に貢献していくことを確認しました。



訪問団の皆さん

日本舞踊が披露される中、会場では、多くの新しい出会いが生まれました。川越市出身でオータン市の近くに住んでいる川崎MICHELET勉さんが当日の通訳を務め、オータン市と川越市のつながりをいっそう身近に感じることができました。また、川崎さんは引き続き行われた懇親会で、歌と民族舞踊を披露しました。

若い世代の交流を実現するために……。 「私たちの街、オータン市」との交流は、新たな段階に入りました。

問い合わせ…国際交流課国際交流担当・TEL内線2142



Duet

デュエット

広報川越へのご意見・ご感想を
紹介するコーナーです

あて先Ⅱ〒350-8601川越市役所広報室「デュエット係」▼ファク
スⅡ25-2171▼EメールⅡkoho@city.kawagoe.saitama.jp
*必ず住所・氏名・年齢・電話番号をご記入ください。
*匿名・ペンネーム希望の場合は、その旨を明記してください。

しろの二文字を見て、運
動会を思い出しまし
た。

毎年秋の運動会は、隅田川
にポンポン蒸気船が川面を走
って行く様を身近に見なが
ら、区立のグラウンドで行わ
れました。

一教室の人数を半分に白
組、赤組と分かれて来賓席を

中心にして、右、左に学童の
席が出来ます。

各々白組の男子は、体操帽
子の白を出し、女子児童は、
ハチ巻きを白で締め、赤組の
男子、女子共に赤を表面にし
て、出場者への応援です。応
援席の前には白ハチ巻、白夕
スキ、白扇を両手に持ちリ
ダー格の学童五、六人が立ち

並び応援の先導者となって声
援を送ります。

母校には自慢の演技が有り
ました。それは、先生の打つ
大太鼓に合わせて四、五、六
年生の男子の演技「相撲体操」
です。
女子には、一年生から六年
生の合同演技、一年生が中心
二年生、三年生……と六年生

が輪を大きく広げて、遊技を
見て貰います。

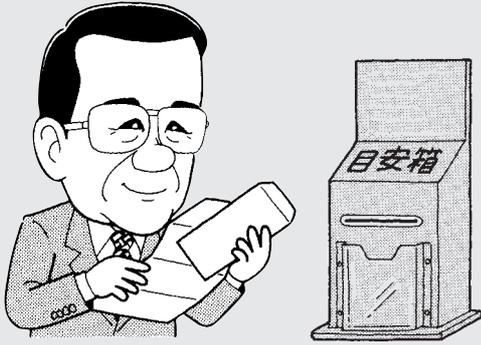
残念乍らこの演技は、母校
の名前と共に消えました。
戦後、卒業生の希望で今は
無き校名を石に刻み、胸を張
って校庭の一角に建っていま
す。(二部省略)

■ 村上君江(野田)
広報川越から

ちよつと時期を過ぎてしま
いましたが、運動会のお便り
を紹介しました。

村上さんの母校は現在、中
学校になっていそうです。
思い出に残る運動会の様子
文面から感じられました。
◎ ◎ ◎
*ふりがなは、広報室で付け
ました。

舟橋市長に提案 No.136



西武新宿線南大塚駅北口にもエレベーターを設置してください

提案要旨(市民目安箱・平成17年2月)

西武新宿線南大塚駅の北口にもエレベーターを付けてほしいです。子ども連れだととても不便です。

回答

高齢者や障害者など、誰もが自立した社会生活を過ごせるようにするための環境整備が求められております。

これまで、南大塚駅北口にはバリアフリー施設がないため、高齢者や障害者をはじめ、子ども連れの方など、北口を利用する皆さんには、たいへんご不便をおかけしておりました。また、目安箱などにより、要望をいただいております。

このようなことから、市といたしましても早期に南大塚駅北口のバリアフリー化が実現できるよう、鉄道事業者に対し要望を行い、協議を重ねてまいりました。

このたび協議がまとまり、今月中旬から工事が始まり、今年度中に、南大塚駅北口にエレベーターが設置されることになりました。

このようなバリアフリー化につきましては、バリアフリー新法に基づいて、市も一定額の負担をしております。今後も、高齢者や障害者だけでなく、すべての市民の皆さんが安全・快適に公共交通機関を利用することができるよう、環境整備に努めてまいりたいと考えております。

なお、エレベーター設置工事の期間中は、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解いただきますようお願いいたします。

このことについては、都市交通政策課都市交通政策担当・TEL内線2131にお尋ねください。